

第 204 回競技委員会議事録

1. 日 時：2010 年 2 月 3 日（水）18 時 00 分～19 時 20 分
2. 会 場：連盟本部事務局
3. 出席委員：清水康裕委員長、平田眞、寺本直志、古田一雄、齊藤千鶴乃、西田奈津子、山菅昭夫
田中陵華、仲村篤志
以下委任状：林伸之、佐々部君敏
オブザーバー：大政哲人
委員総数 11、定足数 8、出席 11（内委任状 2）で成立。
4. 議事の経過及び結果：清水康裕委員長を議長に議事を逐一審議した。

第 1 号議案 JCBL HANDBOOK 変更案に関して

- (1) 仲村委員の原案をもとに審議を行った。
- (2) 礼儀とマナーに関する項目：表現などに問題が多いため、全面改訂が望ましいことが西田委員から報告された。年度内には間に合わないのので来年度に改訂することとした。
記載内容には特に問題が無いので次号は現状のまま掲載することとした。
- (3) ゲームに参加するには：ビディングボックスの使用法に関して一部を修正した。
- (4) ルールガイド：
ゲームにおける基本事項：
パスアウトしたボードを配り直してはいけないこと、パスアウトしたときも 13 枚のカードをシャッフルしてボードに戻すことを追加した。
プレイに関する基本事項：
順番外のリードに関する記述を 2007 年規則改正に則する内容に修正した。

第 2 号議案 IMP 規定に関して

- (1) 大阪 B C より I M P の現状報告がされた、次回以降の委員会で継続審議する。

第 3 号議案 NT オープンが 2 つの点数範囲を持つときの記述に関して

- (1) NT オープンが 2 つの点数範囲を持つときに関して、同時に 2 つの点数範囲を持つことをリスト C 以下で規制することとした。またバル関係やポジションによって点数幅を変更する場合の点数範囲は、通常の NT オープンと同様であることで合意した。リスト C における「ブルークラブシステム」の INT は点数が 5HCP の範囲であれば使用できることで合意した。リスト C における表記は以下のように変更する。
9. ナチュラルな NT に対するあらゆるコール。
INT オープンに関しては 10HCP 以上で点数範囲が 5HCP 以内を満たしていない場合はコンベンショナルなレスポンスとリビッドは使用できない。更に相手方のディフェンスに対してもコンベンションによる対抗を認めない。
バル関係やポジションなどによって点数範囲を変化させる取り決めは認めるが、連続しない 2 つのポイントレンジを同時に示す取り決めは認めない。
リスト B に関しては、12HCP 以上に変更し同様の表記とする。

第 3 号議案 その他議案

- (1) 以下 10 名のクラブディレクター認定が事務局から報告された。

C-00944	永山 理子	160553
C-00945	中村 和子	175610
C-00946	三田村 綾	177845
C-00947	野元 佳代	186737
C-00948	佐々原 みのり	186980
C-00949	藤田 弘江	190426
C-00950	原 潤子	195551
C-00951	吉野 直子	200264
C-00952	田中 真由美	205849
C-00953	後藤 牧子	207296

- (2)以下1名のセクショナルディレクターが承認された。
C-00720 加藤 八重子 142663 (推薦 S-00093 近藤 久子)
- (3)NEC 杯喫煙規定 (ゲラー氏からの NEC 杯に於ける喫煙規定に関する問い合わせに関して) 第202回競技委員会議事録にて新規定を適用することが記され、理事会で承認済みであることを確認した。運営は NEC 組織委員会及び事務局の管轄になる。NEC 杯参加の海外選手を対象とした大会前日のミーティング席上で主任ディレクターが喫煙規定に関して説明することが事務局より説明された。
- (4)ゲラー氏からの裁定に関する文書に関して
競技委員会はディレクターの裁定を支持した。
ディレクターの裁定に異議がある場合は上告することを勧める旨の回答をすることとした。
- (5)社会人 IMP および丸の内杯の参加資格に関して
多くのプレイヤーが参加し易いように参加資格を変更した。勤続年数が10年を超える者は、転勤した後も転勤先にチームがない場合は元の職場から参加できる。
- (6)NEC 杯に於けるマルチ 2D サンプルディフェンスの日本語版と英語版が回覧された。
英語版は NEC ウェブサイトに掲載する予定である。

次回競技委員会は3月31日(水)18時00分からの開催を予定する。

以上